

新・文化庁との連携による文化政策の展開について

【担当省庁】 文部科学省

京都府では、文化庁の全面的な移転の実現に向けて庁舎整備などに努めているところであり、閣議決定された通り 令和4年度中に京都で業務が開始されるようお願いするとともに、文化庁移転及び令和7年の大阪・関西万博をターゲットに、京都に移転する文化庁のリーダーシップのもと、京都から文化発信 できるよう、以下の措置を講じていただきたい。

- 文化庁京都移転を契機として、関西が強みとする食文化や文化観光等の推進を所管する組織の京都への着実な移転並びに文化に関する国際会議（ユネスコ文化大臣会合等）の京都誘致及び国際文化交流プロジェクトの推進
- 毎年東京で開催されている 文化庁メディア芸術祭を京都においても開催 し、メディア芸術分野における創作活動の更なる活性化
- 文化資源活用推進事業において、京都府内全域で地域の文化資源を活用して取り組む 「もうひとつの京都」アートプロジェクトに対する継続支援及び十分な予算の確保
- 開催中止に追い込まれ、継承の危機に瀕している 地域の祭礼・行事等の無形の文化財が持続できるよう地域文化財総合活用推進事業について十分な予算の確保及び事業に対する支援
- 食文化をはじめとする京都の伝統的な生活文化の継承・振興に向け、登録無形文化財に対する補助制度の創設等事業の充実
- 障害者による文化芸術活動推進事業において十分な予算を確保するとともに、地方障害者文化芸術活動推進基本計画を策定した自治体に対する確実な採択

京 都 府 の担当課	文化スポーツ部	文化政策室 (075-414-5166)
		文化芸術課 (075-414-4216)
	健康福祉部	障害者支援課 (075-414-4608)
	教育委員会	文化財保護課 (075-414-5896)

【国の事業等】

■概算要求〔文化庁〕

- ▶ **メディア芸術の創造・発信プラン** 10.96 億円（令和3年度予算 10.46 億円）
（うちメディア芸術グローバル展開事業 4.13 億円（令和3年度予算 3.93 億円））
地方においてメディア芸術祭受賞作品を中心とした展覧会を開催
- ▶ **文化資源活用推進事業** 8.03 億円（新規）
地域公共団体が主体となり、文化芸術分野の専門的人材を活用して地域のアーティスト等と連携協力を図りながら、多様な文化芸術活動の取組を支援
- ▶ **地域文化財総合活用推進事業** 19.39 億円（令和3年度予算 16.89 億円）
（うち地域伝統行事・民族芸能等継承基盤整備 5.28 億円（令和3年度予算 4.15 億円））
地域の伝統行事や民俗芸能を支える保存会等を支援することにより、地域の文化振興・地域活性化を推進
- ▶ 『食文化あふれる国・日本』プロジェクト 3.61 億円（令和3年度予算 1.49 億円）
（うち「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業）
令和3年度に文化財保護法が改正、食文化など無形の文化財を保護する登録制度が新設。食文化の魅力の国内外への発信を支援
- ▶ **障害者等による文化芸術活動推進事業** 4.76 億円（令和3年度予算 3.76 億円）
障害者等による文化芸術の鑑賞や創造機会の拡大、発表機会の確保などを支援

【京都府の取組】

- 文化芸術発信強化事業 （令和3年度予算 40 百万円）
 - ▶ 関西地域文化フェアの開催(令和3年11月21日開催)
 - ▶ 伝統文化体験フェスティバル+（令和4年1月、2月開催）
 - ▶ 障害者芸術展の開催「CONNECT⁵」展府域展開事業（令和3年12月開催）等
- 地域文化を活用した地域活性化プロジェクト （令和3年度予算 5 百万円）
文化観光サポーターを3つのDMOに配置し地域行催事の支援や文化観光を推進
- 「もうひとつの京都」アートプロジェクト（日本博府域展開アートプロジェクト事業）
（令和3年度予算 41.5 百万円）
府内各地域で歴史や風土、生活文化等を題材としたアートプロジェクト事業を実施
- 「京都の料理人等により継承されてきた伝統的な食文化」調査等事業
（令和3年度予算 10 百万円）
京都の伝統的な食文化の実態（技術・技能やその空間のしつらえ等）を適切に評価し、登録無形文化財としての要件を明らかにするための調査等を実施
- 障害者文化芸術振興事業 （令和3年度予算 39 百万円）
大学、芸術家、福祉事業者、企業、美術館、自治体その他の関係機関等で構成する「きょうと障害者文化芸術推進機構」を核として、障害者の芸術活動を支援